

さいたま市水辺のサポート制度実施要綱

（目的）

第1条 この要綱は、市内の河川、遊水地、公園内の水辺等（私有地を除く。以下「市内河川等」という。）において、ボランティアで環境美化活動等を行う自治会、企業、市民団体等（以下「団体」という。）と市が、水辺のサポート制度に係る協定を締結し、市民、事業者、行政が協力して、快適で美しい水辺環境の維持・向上を推進するとともに、環境保全に対する意識の高揚を図ることを目的とする。

（サポーターの要件）

第2条 サポーターは、概ね5人以上で構成される団体で、市内河川等の概ね100メートル以上の区間において環境美化活動等を実施できる団体とする。

（参加の手続き）

第3条 水辺のサポート制度に参加しようとする団体の代表者は、水辺のサポート制度参加申込書（様式第1号）、当該年度の活動計画書（様式第2号）及び参加者名簿（様式第3号）を市長に提出するものとする。

2 市長は、審査の上、団体をサポーターとして認定することができる。

（協定書の締結）

第4条 市長は、団体をサポーターに認定したときは、水辺のサポート制度に関する協定書（様式第4号。以下「協定書」という。）を締結するものとする。

（認定書の交付）

第5条 市長は、協定書が締結されたときは、団体に水辺のサポーター認定書（様式第5号）を交付する。

（サポーターの活動）

第6条 サポーターは、対象区間において、ボランティアで環境美化活動等を行うものとする。

2 サポーターは、環境美化活動等を実施するときは、第1条の目的に反する活動をしてはならない。

（活動計画書及び実績報告書）

第7条 次年度も継続して活動するサポーターの代表者は、年度の末日までに次年度の活動計画書を市長に提出するものとする。

2 サポーターの代表者は、活動を実施した翌月の10日までに活動報告書（月分）（様

式第6号)を提出するとともに、毎年4月末日までに、前年度の実績報告書(様式第7号)を市長に提出するものとする。

(事故報告)

第8条 サポーターの代表者は、活動中に事故が発生した場合は、直ちに市長に連絡するとともに、速やかに事故発生報告書(様式第8号)を提出するものとする。

(さいたま市の支援内容)

第9条 参加団体に対する支援は、必要に応じ当該年度の予算の範囲内において、次のとおりとする。ただし、参加団体が支援を求めないときは、この限りでない。

- (1) サポーターが回収したごみの処理について協力する。
- (2) 環境美化活動等に関するボランティア保険に加入する。
- (3) 環境美化活動等に必要な物品の支給を行う。
- (4) 前3号に規定するもののほか、環境美化活動等についての必要な支援を行う。

(協定書の変更等)

第10条 協定書は、サポーターの代表者から、協定書の変更又は解除の申し出がない場合は継続するものとする。

- 2 市長は、協定書変更・解除届(様式第9号)により、協定書の変更又は解除の申し出を受けたときは、協定書を変更又は解除することができる。
- 3 市長は、サポーターが協定書の各条に規定する義務を履行できないとき、又はサポーターとしてふさわしくないと認められるときは、協定を解除するものとする。

(その他)

第11条 この要綱に関する庶務は、環境局環境共生部環境対策課において処理する。

- 2 この要綱に定めのない事項については、サポーターと市が協議して決定する。

附 則

この要綱は、平成18年9月29日から施行する。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年6月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和３年４月１日から施行する。

様式第 1 号（第 3 条関係）

水辺のサポート制度参加申込書

年 月 日

（あて先）さいたま市長

団体名
申込者 代表者住所
氏名
電話番号

水辺のサポート制度に参加したいので、次のとおり申し込みます。

活動箇所	河川等の名称：
	から まで約 m
活動内容（予定） 作業内容を具体的に 記入してください。	
年間活動回数（予定）	回
団体の構成員数	人

注）活動計画書、参加者名簿及び活動箇所の案内図を必ず添付してください。

活動計画書

年 月 日

団 体 名	
代 表 者 氏 名	
河 川 等 の 名 称	
活 動 箇 所	さいたま市

活動日及び内容（予定）

活動日	活動内容	参加人数	備考
年 月 日		人	
年 月 日		人	
年 月 日		人	
年 月 日		人	
年 月 日		人	
(例) 平成18年 8月10日	空き缶、ごみ拾い	20 人	

様式第3号（第3条関係）

参加者名簿

No. /

団 体 名	
代表者氏名	

番号	氏 名	番号	氏 名

※ 団体で作成した名簿を添付していただいても結構です。

第6条 この協定書は、団体からの変更又は解除の申し出がない場合は、継続するものと

する。ただし、団体の活動が、この協定書及び法令に抵触する場合、又は趣旨と異なる活動を行うなど水辺のサポーターとしてふさわしくないと認められる場合は、市はサポーターの認定を取り消し、協定を解除する。

(その他)

第7条 この協定書に定めのない事項又は疑義が生じた場合は、団体と市が協議して決定するものとする。

年 月 日

団 体 名
(サポーター) 代表者住所
代表者氏名

印

埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号
(さいたま市) さいたま市
さいたま市長 清水勇人

印

様式第5号（第5条関係）

水辺のサポーター認定書

年 月 日
認定番号

様

さいたま市長

印

年 月 日付で提出のあった水辺のサポート制度参加申込については、さいたま市水辺のサポート制度実施要綱第4条の規定に基づき、申込書のとおり貴団体をサポーター認定します。

記

河川等の名称

区間

から

まで

（約 m）

様式第6号（第7条関係）

活動報告書（ 月分）

年 月 日

（あて先）さいたま市長
（環境対策課）

団体名	
担当者氏名	
電話番号	

活動日及び内容

活動日	活動内容	参加人数	備考
日		人 (中学生 人) (小学生以下 人)	(袋・kg)
日		人 (中学生 人) (小学生以下 人)	(袋・kg)
日		人 (中学生 人) (小学生以下 人)	(袋・kg)
【ご意見・ご要望】			

※1か月分の活動内容をまとめて翌月10日までに提出してください。

提出の方法は郵送・メール・FAXのいずれかでお願いします。

※参加人数については小・中学生等が参加された場合は、内数をそれぞれ（ ）に記入をお願いします。

※年度終了後、さいたま市水辺のサポート制度実施要綱に基づく実績報告書（様式第7号）の提出をお願いします。なお、提出時には毎月分の報告と相違がないようにしてください。

※備考欄にはごみの量などをご記入ください。

年度 実績報告書

年 月 日

（あて先）さいたま市長

団体名
代表者住所
氏名
電話番号

団体名	
代表者氏名	(電話)
河川等の名称	
活動箇所	さいたま市

活動回数及び延べ人数

年 間	活動回数	回
	延べ人数	人
【ご意見・ご要望】		

事故発生報告書

年 月 日

（あて先）さいたま市長

団体名
代表者住所
氏名
電話番号

団体名	
代表者氏名	
連絡先（電話）	

負傷者	住所		電話	
・ 構 成 員				
・ それ以外	氏名		年齢	
治療病院名	※診察券のコピーを添付してください			
事故発生日時	年 月 日（ ） 午前・午後 時 分頃			
事故発生場所	(目標物) 前			
事故の原因・状況など				

注) 1 事故が発生した場合は、まず電話等で環境対策課に連絡してください。
2 この報告書に事故の状況が分かるような図面を添付し、速やかに提出してください。

協定書変更・解除届

年 月 日

（あて先）さいたま市長

団体名
代表者住所
氏名
電話番号

次のとおり協定書の変更又は解除を申し出ます。

変更・解除の別	内 容
変更 ・ 解除	